は八日夜帰幡せうとの噂を耳にしたる記者は眞偽を確かなべく製鐵所に中川次長を訪問せしに中川次長は多忙の故を以て南部副參事代つて記者に面會せらを以て長官の帰幡の眞偽を確めたるに南部氏は今朝斯かる噂は耳にせしも長官が帰幡せらや否やは未だ知らずとの事なりしよい記者は更に俥を飛ばせて荒生田の長官々邸を訪問したるに表門は固く閉ざされ居るに太甚失望したるが勝手口の開放され居るを幸勝手口に入りて女中に長官が帰邸せられ居るや否やを問ひたるに帰邸されれ居れりとの事なりしを以て刺を通じて面會を求めたるに白仁長官は快よく記者を引見して今回の怠業事件に關しての如き談話をなしたり

飛んでもない騒を起して実に申訳なき次第だ、實に帰らない積もりだつたが突然呼び立つて帰らしにして事夜(八日の夜)九時頃門に着き自動車で帰へて來た事である、今回の怠業に就ては新聞紙の報導や製鐵所からの報告で大体は知つて居つたが実際なる中川次長や官房主事等から事件の經過を聞いたやうな事や未だ出勤もせずに居る處だ殊し次第の話によるとモウ今日から従前通り作業して居る樣子だから事件も之で

◆落着 したものと思ふ

職工の責分はどうするかと言ふかね、それは無論悪い分子は罷免かなければならぬ悪い分子を工場に入れて置くと再低業ことをやるかも知れないので居る危険だから之を機會に悪い分子を一掃する考へである併し友會といつた處で全部の者が悪いものではない悪い者はホンの僅かな數で其の他は煽動されて盲目的に附和したものであるから是非とも全部を

◆悪者 扱ひにする譯にはゆかない尤も勞友會の中でも有力な人位は結束を固くしてゐたから會員名簿に作つ

なきば作つて居るまいと思ふからこれを除外して宜いか分らないが自分が辭表した回答に服從し出勤して來る者は皆從前通使用する積りだ職工の

◆要求 に對しては自分

發表した回答で打切でアレ以外譲歩はしないが回答通には四月一日から實行する事にして居る何しろ新聞記者諸君の報道が除りに袈裟なので驚かされた新聞記者諸君にはお氣の毒だが機械なぎに對する智識のない今一つは製鐵所内の事情が分らないのだからアンナ報道をするのでもらうがアレでも困つたもーだ溶鑛爐の火が消へた爲めに溶鑛が凝結して使用に堪ねぬやうになつたとか平爐使用されぬやうになつたとか盛報傳へて製鐵所の損害は莫大なものであるといつたやうなことを報じてゐるが決して其んなことはない溶鑛爐の如きは二ケ月間は

◆耐久 力があるので二日や三日職工が怠業した處で何等の打撃も受けない尤も溶鑛爐で六萬圓となる譯である

▲出來得る丈の途は講じた積だ

夫がこんな事になつたのは仕方がない要するに私の不徳の致す處であらふそれより更に記者は今回の怠業を未前に防ぐ方法なかりしかがまた更に前兆はなかりしかを質問せるに對し長官は語を次で曰く

◆今度 の怠業は突如勃發したものではない早くからこれが前兆はあつた一昨年頃からその兆があつてゴタ〳〵してゐたそこで製鐵所としては共部庶務課給をなし臨時手當を與へ又は臨時賞與を支給するなど出來得るだけの方法を講じて來たのであるから職工に對する

◆待遇 方法は出來るだけのことはしてある積りだが平素新聞や雑誌などを讀むやうな者か煽動の思想を生吹きしたり或ひは主義を実行したりして

注意を拂つて善良なる職工を選擇して就業せしめてゐるので職工の中堅怠業をやつてのけるようなことは無いと思ふ

◆打撃 を與へたものであるへ長はさうした事は全くない點で職工が怠業なぎやる場合は決して斯かる行爲出ない思ふ自分等の勤務する工場は綺麗に除をし綺麗の用へもの廢いて置いて工場を出て再び復業の場合作業に

◆支差へ ないやうにしたい怠業をやるときは前に行はれた怠業とは大分趣を異にして居る今度の怠業でも職工は自分等の要求が容れられれば復業するといふ考へを持つてゐるのを見へて機械なぎ破壊して居ぬ處は從來の怠業に一歩進んだやり方であると職工が組暴の行爲に出ざりしとの管理

▲當分は

お禮廻

何かて滞在目下諸管開管中なるを以て直に

自動車の活動